

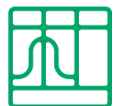
【ソーシャルビジネス的手法による地域づくり促進助成】

ケヤキ剪定枝等を活かした 定禅寺通エリアブランディング・ プロジェクト

実施団体①

一般社団法人

定禅寺通エリアマネジメント



定禅寺通エリアマネジメント

JOZENJI STREET AREA MANAGEMENT

実施団体②

アサヒユウアス株式会社

Asahi アサヒユウアス

はじめに – 審査会での指摘事項

- a. 事業の実施にあたっては地域の一体性ととともに、様々な市民や主体が参画してその成果を共有し得る多様性にも留意しながら取り組みを進めてください。
- b. また、本市の施策・動向も捉えながら本市の関係部署とも連携し相乗効果が得られる広報PRに努めてください。
- c. 本助成事業が将来も自立的に継続できるよう本助成制度終了後を見据えた資金計画や仕組みづくりに取り組んでください。
- d. 事業の実施にあたっては、事前に関係機関や地域住民へ十分な説明を行い、必要な許可・承認を得たうえで実施してください。

▶ プレゼンの中で対応状況を説明

1. 事業実施団体について



定禅寺通エリアマネジメント
JOZENJI STREET AREA MANAGEMENT

- 定禅寺通地区の持続的な価値向上に寄与するエリアマネジメントに取り組むまちづくり団体。2022年4月に設立

■主な活動内容（実績）

- グリーンコミュニティ事業
- パブリックスペースマネジメント事業
- プロモーション事業
- フェローシップ事業
- 中間支援事業



- 事業活動において、「循環型社会の形成に貢献すること」「地域課題解決に貢献すること」を目的に活動

■主な活動内容（実績）

- サステナブルプロダクツの開発・販売
- サステナブルドリンクの製造・販売
- 上記を通じたサステナブルネットワーク構築のコーディネート

2. 令和6年度事業の実施内容

(1) 課題

- 「定禅寺通エリアまちづくりビジョン2030」に基づき、地域関係者の意識醸成とあわせて、市民の共感を得ながら定禅寺通のファンを増やすことが不可欠
- 定禅寺通エリアで、ケヤキ並木から連想される「サステナブル」や「エコロジー」なエリアとしてのイメージ戦略をもとにした取組みを進めたい
- 定期的な剪定により発生した剪定枝は、定禅寺通のまちづくりやエリアブランディングへ活用されていない
- 仙台市では「プラスチック資源」の一括回収及びリサイクルを実施。市民に一層のごみ分別をしてもらうためには、身近な製品へのリサイクルを行い、リサイクルを実感してもらうことが必要

(2) 目的

【最終的に目指す姿】

- 定禅寺通エリアがサステナブルなエリアとして全国・世界から認知され、そのイメージに紐づいた多彩な活動等が活発に行われることで、多くの方が訪れ、経済活動につながる。また、それに伴って定禅寺通エリアを応援するファンが市内外で増え、定禅寺通エリアにおけるまちづくりが活発に行われている

(3) 令和6年度事業における目標

【令和6年度に期待できる効果】

- 定禅寺通エリアでサステナブルに関する取組みが今後展開されていくことについて、地域内外の市民及び関係者の認知度が高まる

【具体的な指標】

- オリジナルグッズの制作を題材に、資源循環の仕組みや効果など発信するリーフレット作成やイベントでのPRブースなどを通じて周知を行う

イベントでの出展ブース来場者：5,000人

取組みへの共感者の割合：75%

(4) 事業の実施体制

定禅寺通 エリアマネジメント

- ・ オリジナルグッズの企画、展開
- ・ 定禅寺通街づくり協議会や仙台市関係課等との連絡調整



アサヒユウアス

- ・ オリジナルグッズの開発、製作
- ・ サステナブルをテーマにしたイベントの企画検討支援

多様な主体との連携により定禅寺通エリアの持続的な価値向上に取り組んでいる定禅寺通エリアマネジメントと、全国の自治体や企業等と連携し、サステナブル事業を展開しているアサヒユウアスが協働することで、「サステナブルな定禅寺通」のイメージを具体化し、市民や来街者に広く周知することができる。

連携

**定禅寺通街づくり
協議会**
・ 会員及び沿道事業者
への協力依頼

連携

仙台市環境局
・ オリジナルグッズの
材料提供（ケヤキ剪定
枝チップ、プラスチック
ごみペレット）

連携

株式会社ユーメディア
・ リーフレット等の企画及び
デザイン、イベント時のPR
ブース出店場所の確保

(5) 事業スケジュールについて

審査会からの変更事項

月	事業実施内容			
	①オリジナル グッズの開発	②取組みの発信		③ニーズ・共感度 の把握
		リーフレット 作成	既存イベントと 連携したPR	
4月	製品（ タンブラー・ビール ）の開発検討、試作	企画検討	企画検討	
5月				
6月				アンケート内容検討
7月	製品（タンブラー） 本製作（定禅寺通エリア マネジメントが実施）	デザイン	イベント準備	
8月		印刷	情報発信	
9月			ゼロカーボンイベント出展	来場者アンケート
10月	製品（ビール）の 製品化に向けた検討	リーフレットを 用いた周知活動	バンバル仙台出展	結果取りまとめ
11月			バンバル仙台出展	
12月			せんだいリブート 出展	沿道店舗、事業者 へのヒアリング、 アンケート調査
1月				
2月				
3月	会計確認、実施報告の作成			

(6) 使用経費について

審査会からの変更事項

事業費総額 4,800,000円

収入内訳

- ・ 助成金 3,000,000円
- ・ 自己負担 1,100,000円
- ・ オリジナルグッズ販売収入
700,000円

支出内訳

< 助成対象経費 >

- ・ 人件費 1,000,000円
- ・ 報償費 1,500,000円
- ・ 印刷製本費 300,000円
- ・ 使用料及び賃借料 100,000円
- ・ 設備備品購入費 900,000円

< 助成対象外経費 >

- ・ オリジナルグッズ 製作費 1,000,000円

3.令和6年度事業の実施状況

(1) ケヤキ剪定枝等を活用した資源循環型オリジナルグッズの開発



タンブラー
→9/27一般販売開始



ケヤキビール
→展開を検討中

(1) ケヤキ剪定枝等を活用した資源循環型オリジナルグッズの開発

全国初！

- ①市町村が一括収集した
プラ資源の再商品化
- ②ケヤキとプラ資源を
混合した材料の再商品化

ケヤキ



定禅寺通の
ケヤキ剪定枝



チップ



パウダー

家庭から出たプラスチック資源



プラスチック資源を
分別収集



ペレット



ペレット

タンブラーを
射出成形



山中漆器の職人が
手塗りでコーティング

↓
ロゴをレーザープリント



完成！

(1) ケヤキ剪定枝等を活用した資源循環型オリジナルグッズの開発

- ・ 定禅寺通エリアで開催されるイベントでの販売を開始 @ Jozenji Street Zero-Carbon Challenge (単発)、立町たちのみ、バンバル仙台
- ・ **定禅寺通エリアの店舗での委託による常設販売を検討中**



Jozenji Street Zero-Carbon Challenge (9/27-28) での販売

主催:定禅寺通街づくり協議会／共催：仙台市



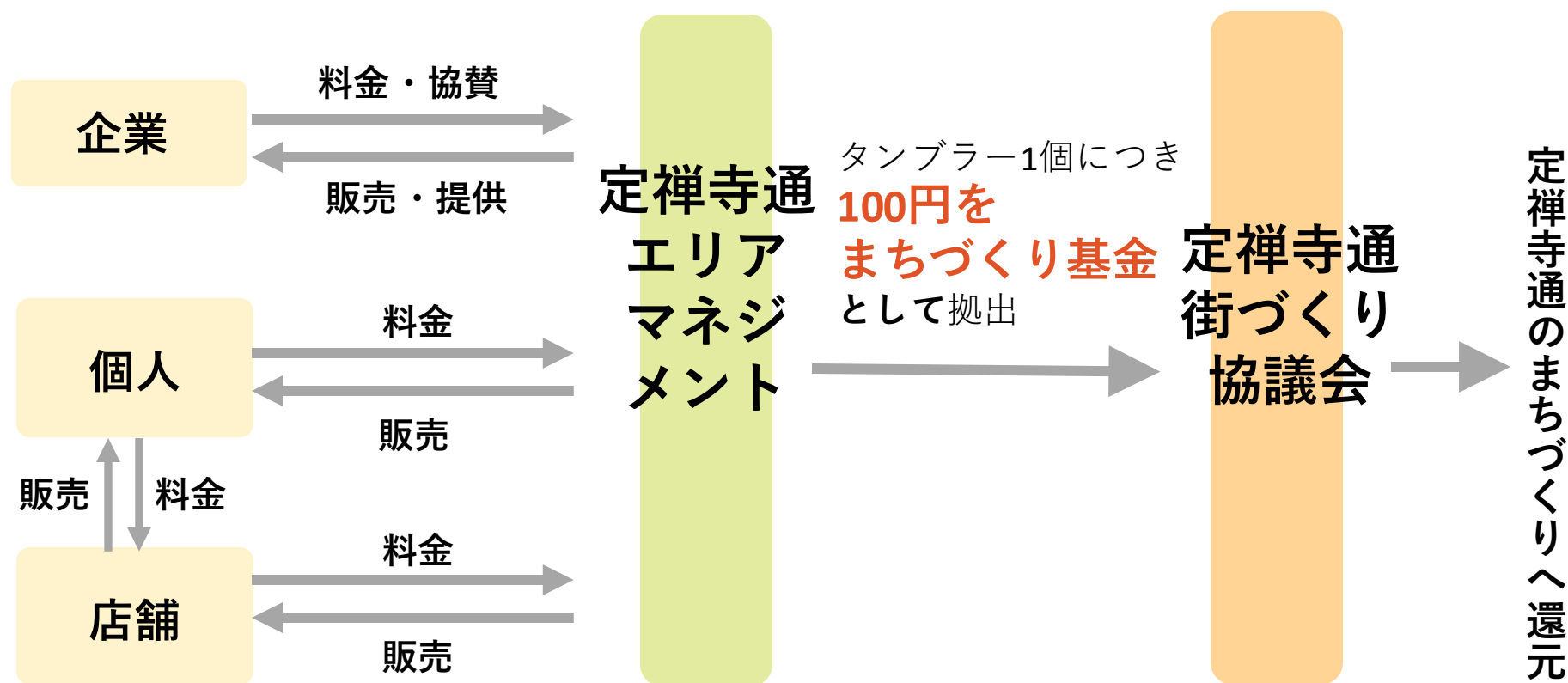
バンバル仙台 (10/ 17-20) での販売

主催:一番町四丁目夜イベント実行委員会

(1) ケヤキ剪定枝等を活用した資源循環型オリジナルグッズの開発

指摘対応 - a.c

- 個人が購入する場合：2,000円/個
- 店舗等が一定数購入する場合は割引



(1) ケヤキ剪定枝等を活用した資源循環型オリジナルグッズの開発

- タンブラーとの親和性が高く、ケヤキを五感で感じることでできるグッズとして、ケヤキの香りを楽しむことのできるビールを開発
- 若者や観光客など、定禅寺通に馴染みの少ない層をターゲットとして想定
- アサヒユウアスの有する技術により、定禅寺通のケヤキ剪定枝を 160°C でローストしてビールに浸漬し、香り付け



ビール試作品

(2) オリジナルグッズを題材とした、定禅寺通における資源循環の取組みについての発信

- 定禅寺通の資源循環について市民に広く知ってもらうために、プロジェクトを紹介するリーフレットを1,000部製作



(2) オリジナルグッズを題材とした、定禅寺通における資源循環の取組みについての発信

指摘対応 – a.b.d

- 定禅寺通及び周辺エリアで行われるイベントと連携し、資源循環についてPRするブースを設置

Jozenji Street Zero-Carbon Challenge (9/27-28)

主催:定禅寺通街づくり協議会/共催:仙台市



(2) オリジナルグッズを題材とした、定禅寺通における資源循環の取組みについての発信

指摘対応 - b

タンブラーお披露目会 (9/27) 主催:定禅寺通エリアマネジメント/協力:仙台市



(2) オリジナルグッズを題材とした、定禅寺通における資源循環の取組みについての発信

指摘対応 - a

Sendai SDGsWeekでの トークセッション実施 (9/28)

主催：仙台青年会議所



定禅寺通ファンミーティングでの 話題提供 (10/1)

主催：株式会社雑談会議



(3) 市民や企業等への取組みのニーズ・共感度の調査

指摘対応 - a

- 市民のニーズ・取組みへの共感度を把握することを目的として、イベント開催時に来場者アンケート調査を実施

Jozenji Street Zero-Carbon Challenge (9/27-28) & 立町たちのみ(9/27)



(3) 市民や企業等への取組みのニーズ・共感度の調査

指摘対応 - a

- 市民のニーズ・取組みへの共感度を把握することを目的として、イベント開催時に来場者アンケート調査を実施
バンバル仙台 (10/17-20)



(3) 市民や企業等への取組みのニーズ・共感度の調査

指摘対応 - a

< イベントであげられたオリジナルグッズに関する意見 >

タンブラーについて



タンブラーを持っている人同士で乾杯し、つながるきっかけになるイベントがあると良い

タンブラーを持っている人を対象とした飲み歩きイベントがあったら楽しそう！



タンブラー1個につき、プラスチックやケヤキ剪定枝がどれくらいアップサイクルされているか数値で表しては？

その他



お皿などカトラリーも展開してほしい！



ケヤキを活用して、アロマや定禅寺通をイメージした香りができたら良いのでは？

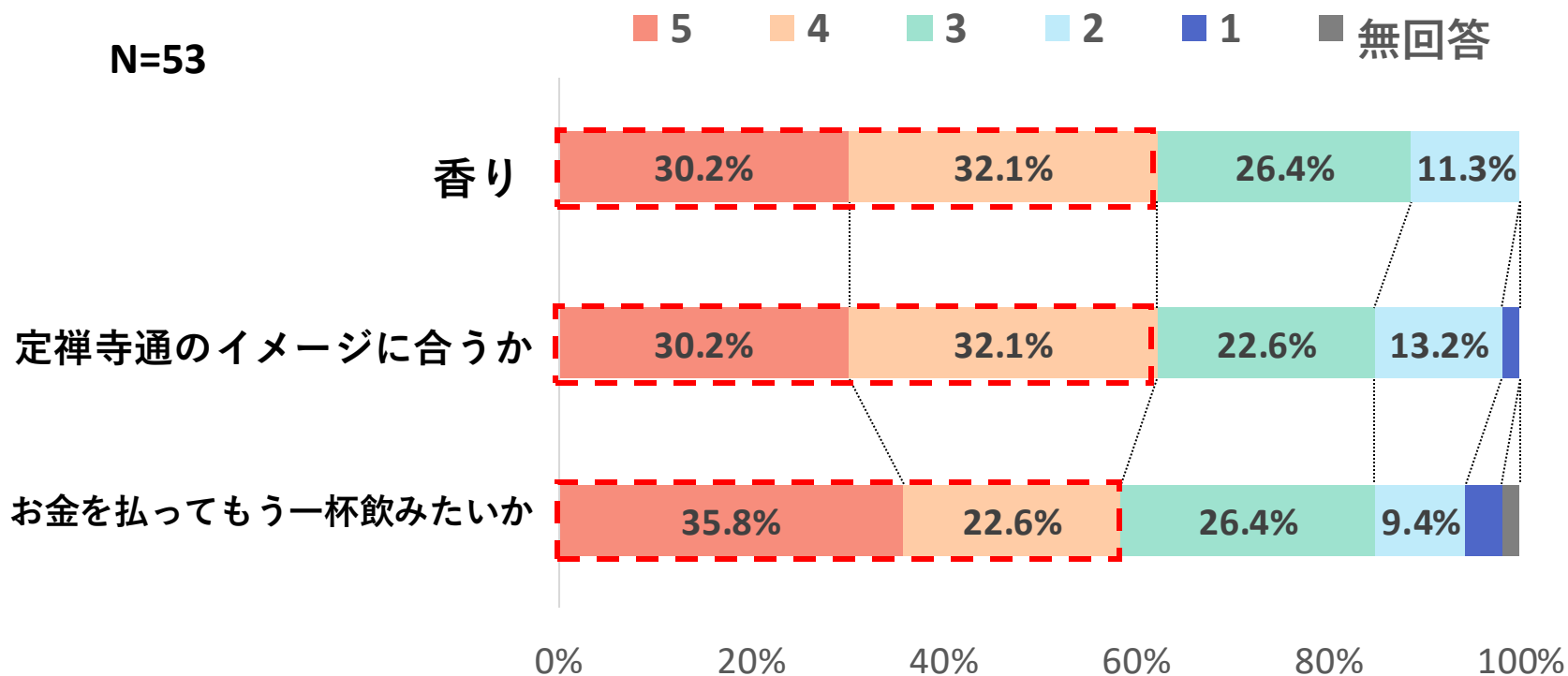


ベンチや遊具など、道路上に置くものにも展開できないか？

(3) 市民や企業等への取組みのニーズ・共感度の調査

指摘対応 - a

- ビールについて、より多くの方が定禅寺通らしさを感じることが出来るものとするため、関係者による試作品の試飲調査を実施
- 「香り」「定禅寺通のイメージに合うか」「お金を払ってもう一杯飲みたいか」では、5段階評価の「5・4」が半数以上となった



※5段階評価で数字が大きい方が良い評価を示す

4. 今後に向けて

■オリジナルグッズの展開

タンブラー

- ・ 定禅寺通エリアで開催される **イベントでの販売を継続**
- ・ タンブラーにまつわるイベントの実施検討
- ・ 定禅寺通エリアの **飲食店での利用可能性について、事業者へのヒアリング**により調査（定禅寺通街づくり協議会と連携して実施）
- ・ その他の流通可能性をアサヒユウアスのネットワークにより調査

ビール

- ・ 試作品の試飲アンケート結果を踏まえたレシピの改良
- ・ **ビール製造**に協力していただける **地元ブルワリーとの連携**を模索（一部実施済）
- ・ （一社）定禅寺通エリアマネジメントが **酒類を販売する上での条件整理**

■オリジナルグッズを活用した取組みの発信の継続

- ・ 取組みの発信により、**認知度を向上**させ、市民から一定の**共感を****得る**ことができた
- ・ 今後はさらなる取組みの周知のため、リーフレットを用いた周知活動・PRブースの出展・共感度の調査を継続したい

＜現時点での実績＞※来場者数

- ・ ゼロカーボンイベント 約1000名
- ・ SDGsWeek 30名
- ・ 雑談ミーティング 30名

■オリジナルグッズの種類拡大検討

- ・ 定禅寺通周辺で開催される**イベントとのコラボグッズ**の検討（一部実施済）